

〈施設紹介〉

大分県教育庁文化課文化財資料室

当文化財資料室は一九七二（昭和四七）年に大分県教育庁文化課の分室として開設され、二年半前の一九九七（平成九）年四月に、現在の大分市中判田に移転しました。開設以来三〇年近くに渡り、文化課が担当した発掘調査の出土資料を整理する拠点として機能しています。現在当資料室には文化課埋蔵文化財第二係が置かれ、職員約四〇名が県内各地の開発等にもなる事前発掘調査にあたっています。そこで出土した考古資料がすべて集まるわけです。遺物はここで整理復元記録化がおこなわれ、その成果は報告書ばかりではなく、博物館・資料館あるいは文化課主催の県内巡回展などで見ることが出来ます。

資料室の施設は約五五〇〇平方メートルの敷地のなかに、管理棟・研修棟・整理棟・収蔵棟の四棟からなります。管理棟には調査員室・図書室・写真撮影室・事務室・応接室、研修棟には研修室・特別収蔵庫・定温収蔵庫・図面保管庫、整

理棟には整理作業室・仮収蔵庫にわかれ、収蔵棟は五室にわかれていて整理のおわった遺物を中心に保管しています。施設の内容の詳細は以下のとおりです。

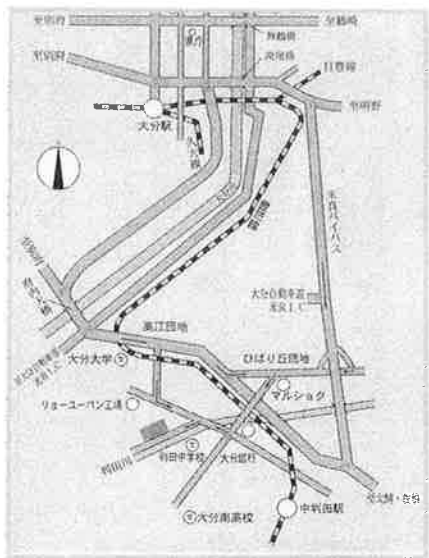
管理棟：文化課埋蔵文化財第二係の職員が、行政事務と図面作製や写真撮影などの調査にかかわる室内作業をしています。また図書室には日本各地や韓国などの発掘調査報告書や展示図録など約二万冊の蔵書があります。貸出は行なっておりませんが、閲覧は可能です。

研修棟：約九〇名収容の研修室と、出土遺物の仮展示を行なっている特別収蔵室があります。ここに展示している遺物は、各種博物館・資料館等の展示や、教材としての貸出を行なっています。

整理棟：ここでは約三〇名の整理補佐員が、発掘調査現場で出土した遺物の洗浄・注記・接合・復元等の作業を行なっています。

収蔵棟：大きく五室に別れていて、過去三〇年間の発掘調査で出土した遺物が整理・収納されています。

当資料室は行政発掘の整理・報告の場としてだけではなく、研究・教育普及活動にも利用できるように施設の開放を行っております。見学研修の受け入れとしては、公立学校の初任者研修、関係行政機関の研修などの公的なもの以外に、小中高等学校の見学・実習や、公民館活動等の生涯学習にかかわる教室等の見学を受け入れる他に、大学生・大学院生等の個人の研究などのための資料見学をうけています。また過



〈施設連絡先〉

大分市大字中判田字ビワノ門1977番地

〒870-0114

TEL 097-597-5675

FAX 097-597-5680

Eメール: op_bunka@fat.coara.or.jp

ホームページ: <http://www.coara.or.jp/> op_bunka「大分の埋蔵文化財」

去三〇年間の発掘調査の成果をみることでできる仮展示をふくめ、出土遺物の貸し出しも行なっており、見学や体験学習といった研修の場として利用していただくことも目的のひとつと考えておりますので御気軽に御相談ください。

(T・Y生)

